

# 中央区文化・国際交流振興協会だより



「佃大橋・佃リバーシティ」(1997年) 小川幸治

● 特集 ●

## 芝居に縁の深い中央区、番付と筋書の今と昔

公益財団法人松竹大谷図書館 武藤 祥子

■ 令和3年度の事業計画と予算

■ 中央区 ひと 粋・活き 伊場仙<sup>いばせん</sup>浮世絵ミュージアム 株式会社 伊場仙<sup>いばせん</sup>



Since 1991

# 芝居に縁の深い中央区、番付と筋書の今と昔

公益財団法人  
松竹大谷図書館 主任司書

武藤 祥子



令和2年9月に2回にわたり開催した文化講座「まちかど展示館で学ぶ『人に話したくなる!中央区の歴史文化と技』」では、1回目に演劇・映画専門の私立図書館である公益財団法人松竹大谷図書館の主任司書でいらっしゃる武藤祥子氏をお招きし、「芝居に縁の深い中央区、番付と筋書の今と昔」と題して講演していただきました。大変好評でしたので、このたび講演に関連した内容について寄稿していただきました。

## 武藤 祥子 (むとう さちこ)



1990年より松竹大谷図書館に勤務、逐次刊行物及び映画資料の整理を担当。2002年より図書管理システムの管理を担当。2010年より閲覧室の所蔵資料展示企画を担当。2012年からは運営費や資料のデジタル化費を募るためのクラウドファンディングに取り組んでいる。2014年より主任司書として事務局担当。立命館大学アート・リサーチセンター客員協力研究員。

### ●松竹大谷図書館

東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 3階  
☎ 03-5550-1694  
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>  
月～金(祝日・年末年始・月末最終木曜を除く、春秋・夏期休館あり)  
10:00～16:00(短縮中)  
休館日を除く前日迄の電話予約制(2021年現在)  
東京メトロ・都営 東銀座駅5番出口徒歩3分、東京メトロ 新富町1番出口徒歩8分

### ●中央区まちかど展示館 ウェブサイト

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/>

## 松竹大谷図書館の概要

松竹大谷図書館は昭和33(1958)年に開館した、歌舞伎座の近くにある演劇と映画の専門図書館です。歌舞伎をはじめ、新派、松竹新喜劇、ミュージカル、商業演劇、新劇などさまざまなジャンルの演劇や、日本で公開された邦画・洋画などの、戦前から現代に至る作品の台本やプログラム、写真、文献、雑誌など49万点以上の資料を所蔵し、閲覧室で無料公開しています。所蔵資料の中には、中央区を舞台にした作品の資料や、歌舞伎座、明治座、新橋演舞場、三越劇場、東京劇場(現在は映画館の東劇)など、中央区に古くからある劇場の資料も数多くあります。



当館所蔵資料より、中央区が舞台となった演劇作品の台本

## 中央区の劇場の歴史

では、中央区にはいつ頃から劇場があるのでしょうか。寛永元(1624)年、江戸で最初の幕府公認の芝居小屋として、ざるわかかんどぶろう猿若勘三郎(初代中村勘三郎)が、日本橋と京橋の間の中橋南地(日本橋2丁目付近)に中村座(当時猿若座)を創設したのが、中央区での劇場の始まりです。現在、その場所から少し離れた京橋3丁目に、「江戸歌舞伎発祥の地」という大きな碑が建っていますので、目にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。中村座はねぎちょう彌宜町(日本橋堀留町)への移転を経て、慶安4(1651)年に下堺町(日本橋人形町)に移転します。同じころ、市村座も上堺町(日本橋堀留町)で興行を始めます。また、現在の歌舞伎座周辺こびきちょうの木挽町(銀座)には、寛永19(1642)年に山村座(1714年廃座)、慶安元(1648)年に河原崎座(1663年休座)、そして万治3(1660)年に森田座が建ちます。これらの江戸の主な劇場は江戸三座(山村座を入れて四座)と呼ばれ、天保の改革によって天保12(1842)～13(1843)年に浅草

の猿若町に移転するまで、実に200年以上もの間、中央区で興行を続けていました。江戸時代、中央区は芝居の中心地だったのです。

## 芝居小屋の宣伝 番付の誕生

江戸の劇場で行われていた宣伝は、始めは主に劇場正面に掲げられた看板によるものでした。その看板も最初は文字が中心であったものが、絵看板が用いられるようになり、元禄の中頃からは鳥居派を中心とした専属絵師が描画を担当するようになります。また、安永8(1780)年頃には勘亭流による看板文字が劇場で使用する文字として確立します。こうした鳥居派による挿絵や勘亭流による看板は、現在も歌舞伎座の興行には欠かせないものとなっています。

時代が下って、興行規模が大きくなってくると、劇場付近だけでなく、広く宣伝を行うため、手書きや木版刷りのちらしや番付が配布されるようになります。番付というと、相撲番付が有名ですが、歌舞伎の公演を宣伝するための番付は芝居番付といわれ、主な種類としては、顔見世番付、辻番付、役割番付(紋番付)、絵本番付などがありました。

辻番付は、現在のポスターのように、これから催される興行や上演演目について宣伝するための印刷物です。演目の内容を描いた挿絵と配役が掲載されており、ご最<sup>ひいき</sup>頁に配布したり、髪結床や風呂屋など人の集まる場所に貼りだしたりして使用しました。江戸時代の番

付の配役は、現在と違い、演目別・場順ではなく、俳優ごとにまとめて記載されていました。しかし、明治22(1889)年11月に歌舞伎座が初開場した際、俳優の登場順に記載した配役を番付に採用すると、これが分かりやすいという事で各劇場の番付にも取り入れられるようになります。

## 冊子体の番付 筋書の誕生

辻番付や顔見世番付は基本的に一枚物の刷り物ですが、役割番付や絵本番付といわれる冊子体の番付もありました。役割番付は、俳優の紋と配役表のみの番付で、紋番付とも呼ばれました。また絵本番付は、上演演目の各場の挿絵からなり、配役は掲載されていませんが、主な登場人物の絵の傍に、役名と俳優名が記されていました。明治期には、挿絵と配役を一緒に見ることが出来る絵本役割と呼ばれる番付が発行されました。

明治10年代になると、演劇雑誌に新作の芝居のあらすじが掲載されるようになり、前もって読んでおくと芝居がよく分かり大変便利だということで、各劇場でもこれを真似て、あらすじを掲載したいいわゆる筋書を作るようになりました。明治時代の筋書は、「菊判」という現在のA5サイズに近い判型で、本文は活版印刷ですが、表紙は多色摺りの木版画でした。歌舞伎座では、大正3(1914)年以降は表紙も色刷りの活版となり、カラフルで複雑なデザインの表紙が見られるようになります。



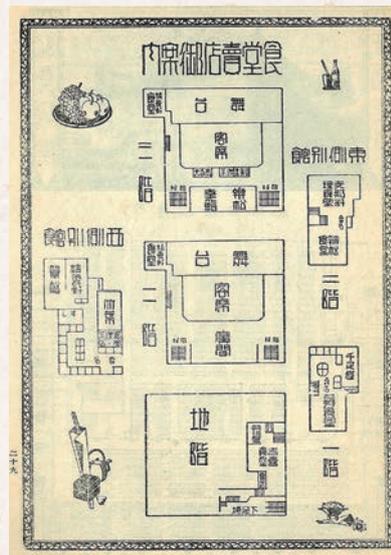
市村座 寛政2(1790)年8月辻番付



同辻番付より(部分)鳥居派の挿絵「瓢箪足」(筋肉を誇張した瓢箪のような形の手足)に「蚯蚓書」(強い抑揚をつけた描線)と言われる独特な表現が特徴。番付に使われる勘亭流の文字は、場内へ客を導き満員になるよう、内巻きに太字で隙間を埋めるように書かれている



歌舞伎座 明治 24 年 3 月筋書の表紙と本文



歌舞伎座 昭和 18 年 12 月の筋書の食堂案内図  
竹葉亭や弁松、千疋屋などの有名店の名がみえる



歌舞伎座大正 14 年 1 月と 10 月の筋書のカラフルな表紙

## 戦前の筋書 世相を映す広告ページ

歌舞伎座の筋書には、劇場内の案内や様々なサービスの広告も掲載されています。昭和 3 (1928) 年 1 月の筋書には、お食事、筋書、記念撮影付きの観劇プランの広告が掲載されています。歌舞伎座の正面玄関を背景にした記念写真は、終演までに受け取ることが出来たようです。また、同年 8 月の筋書の食堂案内図を見ると、竹葉亭、弁松、千疋屋、明治屋などの有名店が歌舞伎座場内に店を出していた事がわかり、劇場内が中央区の名店街のようであった事が想像できます。しかし戦中になると、一転して戦時下ならではの広告が掲載されるようになります。昭和 18 (1943) 年 7 月の筋書には、空襲などで興行中止となった場合の払い戻しに関する注意や、歌舞伎座地下に設けられた待避所の見取図と収容人数が掲載されています。そして、12 月の筋書には、観劇時の服装に関する告知が掲載され、「簡素、剛健、明朗な服装を以って場内を御埋め下さい」などと、質素な服装を勧める一方で、歌舞伎観劇については「決戦下必要不可欠の健全娯楽を、ご覧くださいますやう御願ひいたします。」と、戦時下においても必要不可欠である、と主張しています。

## 現在の歌舞伎座の筋書 初版と再版

戦後、歌舞伎座の筋書は、菊判から B5 サイズへと大きくなり、公演初日に発行される「初版」のほかに、当月の舞台写真が掲載される「再版」がその月のうちに発行されるようになり現在に至っています。あらずじ、配役のほか、読物として特集記事や俳優のインタビュー、上演年表などが掲載され、観劇の手引としてだけでなく観劇記念にもなる、人気のお土産でもあります。筋書の「初版」と「再版」は、中を確認しなくても簡単に見分けることが出来ますので、最後に、その方法をご紹介します。実は背表紙下方の「歌舞伎座」の文字が、四角で囲われているのが「再版」です。平成 7 (1995) 年頃からこの形が採用されており、もしご自宅に歌舞伎座の筋書がありましたらお確かめください。



歌舞伎座の筋書の背表紙  
初版(左)と再版(右)

### 番付・筋書が検索・閲覧できるサイト

松竹大谷図書館所蔵・芝居番付検索閲覧システム  
[https://www.dh-jac.net/db1/ban/search\\_shochiku.php](https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php)  
 立命館大学 ARC 番付ポータルデータベース  
[https://www.dh-jac.net/db1/ban/search\\_portal.php](https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_portal.php)  
 早稲田大学演劇博物館デジタル・アーカイブ 近世芝居番付データベース  
<https://www.waseda.jp/enpaku/db/>

令和3年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。事業内容の詳細は決まり次第、協会のホームページや区のおしらせに掲載してまいります。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止又は延期あるいは実施方法を変更する場合があります。最新の情報は、協会のホームページをご覧ください。か、協会にお問い合わせください。

令和3年度事業計画

文化振興事業

1 機関誌発行・ホームページの管理運営

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行するとともに、スマートフォンにも対応できる協会ホームページを活用して、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせいたします。

情報誌

部数：5,500部 A4判  
発行回数：年2回発行（7月-75号 12月-76号）  
ホームページ  
URL：https://www.chuo-ci.jp/

2 協会創立30周年記念行事

(1) 協会創立30周年記念式典の開催

協会創立30周年にあたり、協会役員をはじめ協会事業の充実発展に寄与された方々を招いて周年を祝うとともに、協会のさらなる発展の節目とします。

開催予定：令和3年12月4日（土）  
会場：銀座プロッサム（中央会館）

(2) 創立30周年記念誌の発行

創設時からの協会事業の記録を収集・整理し、登録ボランティアの活動とともに発展してきた協会の歴史を紹介した記念誌を発行します。

記念誌：A4判 令和4年3月発行予定

3 芸術・文化の普及

(1) コンサート

区民等に親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供し、地域の文化活動の推進を図ります。

開催予定：令和3年9月10日（金）午後6時45分開演  
会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」  
内容：TSUKEMEN コンサート2021  
出演者：TSUKEMEN  
参加費：2,000円  
定員：200名

※感染症の状況により増席の可能性があります。



令和2年度コンサート

(2) 文化講座

中央区に関係の深い各種文化や芸術、歴史等について、専門家の講話等によりその理解を深めるとともに、区民の文化意識の向上を図ります。

開催予定：

第1回：令和3年10月7日（木）  
第2回： 〃 10月14日（木）  
第3回： 〃 10月21日（木）  
各回とも午後6時45分～8時15分

内容：「鏑木清方がみた築地・京橋・日本橋」  
- 没後50年 鏑木清方展を楽しむ -

講師：東京国立近代美術館 主任研究員 鶴見 香織  
鎌倉市鏑木清方記念美術館 学芸員 今西 彩子

会場：日本橋公会堂集会室

定員：各回40名（予定）

参加費：無料

※感染症の状況により増席の可能性があります。



令和2年度文化講座

(3) 特別文化講演会

美術館、博物館などの展覧会に関連した講演会を、NHKとの共催により年4回程度開催し、区民の文化意識の向上を図ります。

なお、参加者には展覧会の入場券（一人1枚）を差し上げます。

※感染症拡大防止のため、開催計画及び時期等は未定です。

(4) 古典芸能鑑賞会

中央区に深い関わりをもつ古典芸能を鑑賞する機会を提供し、伝統文化に対する愛着心を育むとともに、その継承・普及を図ります。企画・制作は、中央区を中心に活動する古典芸能実演家で構成する「中央区古典芸能の会」に委託しています。

開催日時：令和3年6月5日（土）午後5時開演

会場：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」

内容：講話、舞踊清元「三社祭」、琉球舞踊 古典女踊り「本嘉手久節」、落語「ちりとてちん」、新作邦楽「弥次喜多・東海道中膝栗毛 in 中央区」

参加費：2,000円（中学生以下は1,000円）

入場者数：169名（中学生以下2名を含む）

※感染症拡大防止のため、定員を会場定員の半分以下で開催しました。



令和3年度古典芸能鑑賞会

(5) 文化推進事業助成

区内における文化活動をさらに促進し、もって中央区の文化振興をより一層図っていくため、文化事業等を後援するとともに、事業実施等に要する経費の一部を助成します。

①文化創造・発信事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の9/10の範囲内（上限200万円）

②文化団体活動助成

助成金額：当該団体活動の対象経費の1/2の範囲内  
(上限40万円)

③文化推進事業助成

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内  
(上限10万円)

(6) 中央区まるごとミュージアム

中央区と共催で、区民や訪れた方が、本区のさまざまな文化的魅力を体験できる総合的な文化イベントを開催します。

今年度も、感染症拡大防止のため、事業の実施方法を工夫しながら開催する予定です。(14回目)

開催予定：令和3年11月14日(日)

会場：中央区全域

(7) 文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言(平成20年度3月)に基づき、区民(企業、NPO等を含む)の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、中央区と協会が協力して平成20年度に文化の専門家等からなるプロデュースチームを設置しました。今後も、区内の文化事業のさらなる充実・発展に資するため、適宜助言をいただいております。

構成員：6名(検討項目によって委員を追加します。)

国際交流振興事業

(1) 国際交流のつどい

外国人と日本人との交流を推進するため、日本の伝統文化等を紹介するとともに、外国文化にも触れられる交流イベントを開催します。

開催予定：令和3年11月20日(土) 正午～午後4時

会場：築地社会教育会館

内容：伝統文化体験コーナー、懇談コーナー、国際交流サロン、防災コーナー等

参加費：無料

(1) INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY

This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents. Please come and experience Japanese traditional culture and various attractions!

Date & Time: Sat, November 20, 2021 12:00 – 16:00

Place: Tsukiji Social Education Center

Fee: Free



令和元年度国際交流のつどい

(2) 国際交流サロン

区内在住・在勤の外国人と日本人が、日本の文化等を体験できるイベントを通じて交流を楽しめる場を提供します。

開催予定：毎月1回(8月、11月を除く年10回)原則土曜日の午後

会場：築地社会教育会館ほか

内容：茶道、お香、ポッチャ体験、和菓子、日本酒の紹介等

※感染症拡大防止のため、4月、7月は中止としました。

(2) INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

With the help of International exchange salon volunteers, we'll hold various events on cultural experiences where

both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free and open communication.

**Time Schedule:** Once a month (except August and November 10 times a year), basically on Saturday afternoon.

**Place:** Tsukiji Social Education Center, etc.

**Events:** Tea ceremony, incense, bocchia experience, Japanese sweets, introduction of sake, etc.

※ It was canceled in April and July to prevent the spread of COVID-19.



令和2年度国際交流サロン

(3) 日本語教室

日本語でのコミュニケーションが困難な区内在住・在勤の外国人を対象に日本語を教えるとともに、受講する外国人と日本語ボランティアが交流できる日本語教室を開催します。

また、教室参加希望者の増加や多様化に対応するため、ボランティアが主催する教室への支援も行っています。

[協会主催の日本語教室]

教室	①水曜日教室	②木曜日教室	③土曜日教室
開催予定	毎月第1・2・3水曜日 (8月を除く)	毎月第1・2・3木曜日 (8月を除く)	毎月第2・3・4土曜日 (8月は第2・3土曜日を 除く)
	午後6時30分～8時	午前10時～11時45分	午前10時～12時
会場	女性センター「ブーケ2」	協会講習室または 新富区民館	協会講習室または 新富区民館



令和2年度日本語教室

[協会が支援する日本語教室]

教室	①ワールドフレンズ 日曜にほんごクラブ	②日本語 おたすけたい	③月島日本語倶楽部
開催予定	毎週日曜日	月曜日(月3回)	毎週火曜日(8月を除く)
	午前10時～11時30分	午後7時～8時30分	午前10時～11時50分
会場	日本橋社会教育会館	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館
教室	④日本語コミュニケーション・ パートナー	⑤銀座日本語教室	⑥にこにこ日本語
開催予定	火曜日(月3回)	毎月第1・2・3水曜日 (8月を除く)	木曜日(月3回)(8月を除く)
	午後7時～8時30分	午前10時～11時30分	午後7時～8時30分
会場	新富区民館	築地社会教育会館	佃区民館
教室	⑦にほんご生活		
開催予定	毎週土曜日		
	午後2時～3時45分		
会場	築地教会 別棟		

※感染症拡大防止のため、各教室とも状況に応じて開催の可否、開催時間の短縮などの対応を検討しながら開催しています。

### (3) JAPANESE LANGUAGE CLASSES

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers to accommodate the increasing number of participants and diversifying needs.

#### I Japanese Classes that we host:

Class	Wednesday Class	Thursday Class	Saturday Class
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays (Except August)	The 1st, 2nd & 3rd Thursdays (Except August)	The 2nd, 3rd & 4th Saturdays (Except the 2nd & 3rd Saturdays in August)
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~12:00
Place	Chuo-ku Women's Center "Bouquet 21"	CCIEA Office Lecture Room or Shintomi Community Hall	CCIEA Office Lecture Room or Shintomi Community Hall
Fee	About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for the textbook)		

#### II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	World Friends Sunday Japanese Club	Nihongo Otasuketai	Tsukishima Nihongo Club
Schedule	Every Sunday	Monday (3 times per month)	Every Tuesday
Time	10:00~11:30	19:00~20:30	10:00~12:00
Place	Nihonbashi Social Education Center	Nihonbashi Social Education Center	Tsukishima Social Education Center
Class	Partners of NIHONGO Communication	Ginza Japanese Language Class	NIKO NIKO NIHONGO
Schedule	Tuesday (3 times per month)	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays	Thursday (3 times per month)
Time	19:00~20:30	10:00~11:30	19:00~20:30
Place	Shintomi Community Hall	Tsukiji Social Education Center	Tsukuda Community Hall
Class	Nihongo Seikatsu		
Schedule	Every Saturday		
Time	14:00~15:45		
Place	Tsukiji Church Annex		
Fee	Fees differ depending on the class.		

※ All classes are carefully monitoring the situation with COVID-19 and taking preventive measures such as reduction of the class hours and cancellation of the class.

#### (4) 日本語指導者養成講座

上記(3)の日本語教室で日本語を指導するボランティアを養成するため、協会独自の養成講座を開催します。

開催予定：令和3年5月～9月、全44時間

会場：新富区民館

講師：明海大学外国語学部 准教授 西川 寛之

募集人員：15～20名程度

#### (5) 日本語ステップアップ講座

日本語ボランティアを対象に指導力のレベルアップを図るため、ステップアップ講座を開催します。

開催予定：年間7回(14時間)

#### (6) ボランティア活動支援

協会登録ボランティアの活動を強化・支援するため、講習会などを開催します。

また、中央区等から依頼があったとき、協会登録のボランティアを区の事業等に派遣します。

ボランティアの種類及び登録者数(令和3年3月末日現在)  
登録者数：335名(実人員)

①通訳・翻訳ボランティア：89名

②イベントスタッフボランティア：176名

③日本語ボランティア：216名

④国際交流サロンボランティア：11名

⑤防災語学ボランティア：51名

ボランティア講習会

開催予定：年間2回

#### (7) 姉妹都市親善写真展

中央区と姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との親善を深めるため、生活やまちの風景、行事等を紹介する写真を相互に交換し、親善写真展を開催します。

開催予定：令和4年2月

会場：3箇所(区役所、日本橋区民センター、月島区民センター 各1階)

#### (8) 外国客船の歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船の入港時の歓迎行事に参加し、記念品を贈呈します。

主催：東京都港湾局、一般社団法人東京都港湾振興協会

#### (9) 国際交流推進事業助成

協会の目的である国際交流の振興を図るため、区民が主体となって行う国際交流事業に対して後援するとともに、実施に要する経費の一部を助成します。

助成金額：当該事業の対象経費の1/2の範囲内

(上限10万円)

## 令和3年度予算

### <収入>

科目	予算額(円)	説明
事業収入	1,455,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	113,667,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	1,000	預金利子
収入合計	115,124,000	

### <支出>

科目	予算額(円)	説明
事業費	70,600,000	
文化振興費	64,632,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	5,968,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	44,024,000	
人件費	37,813,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	6,211,000	理事会、事務費、周年行事等
予備費	500,000	
支出合計	115,124,000	

## 株式会社 伊場仙

## 伊場仙 浮世絵ミュージアム

江戸、東京、世界の人々とともに。  
時代も国も越えて  
浮世絵や江戸うちわを通じて400年以上。



よしだ のぶお  
吉田 誠男さん

## ●プロフィール

「伊場仙」14代目当主。かつてはカメラメーカーのエンジニア、現在は社業の傍ら執筆活動も。日本橋とメイフェア(ロンドン)の地域連携プロジェクトにも参画。趣味は登山。

## ●伊場仙浮世絵ミュージアム

東京都中央区日本橋小舟町4-1

☎ 03-3664-9261

<https://www.ibasen.com>

年末年始を除く毎日

8:00～20:00(店舗は

10:00～17:30変更になる

場合があります。/月～金曜日)

東京メトロ三越前駅A6番出口 徒歩6分、

JR新日本橋駅5番出口 徒歩5分

●中央区まちかど展示館 ウェブサイト

<https://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/>

1590年創業、日本橋で430年余り続く扇子とうちわの老舗・浮世絵版元「伊場仙」。店舗の隣の回廊にあるミュージアムには、歌川国芳らの浮世絵が並びます。14代目当主の吉田誠男さんにお話を伺いました。

浮世絵版元というのは、どんな存在だったのでしょうか？

版元は今でいう出版社でありメディアプロデューサーです。浮世絵は雑誌やポスターのようなものでした。今年は何んな着物の柄や髪型が流行りそうか、どの歌舞伎役者が人気か、江戸の人たちは今何に関心があるのか……さまざまな情報を集めて絵の内容を考えるのが版元です。ファッション情報なら呉服屋さんや遊郭の花魁、時事ネタなら将軍家や大奥の関係者などから情報を収集していたそうです。そして、どの絵師に描いてもらって、誰に彫って、刷ってもらうかを決めるのも版元の役目。今は北斎や広重、国芳など絵師ばかりが注目されていますが、かつては彫り師の地位も大変高いものでした。浮世絵をよく見ると、絵師だけでなく、彫り師や版元の落款もあるので、ぜひ注目してみてください。

ミュージアムにある『源頼光公館土蜘蛛作妖怪図』について教えてください

これは1843年(天保14年)に刷られた絵です。当時、江戸では水野忠邦による儉約令、いわゆる天保の改革の真っ只中。寄席の閉鎖、歌舞伎役者や作家らの処罰など娯楽への取り締まりが厳しく、江戸庶民の間には不満が渦巻いていました。そんな恨み節を妖怪の姿に託して風刺したもので、発売するやいなや、

たちまち江戸市中で大反響となったベストセラーの一枚です。かなりリスキーな内容ですが、水野忠邦の失脚が近いという情報もキャッチした上で、版元として判断して世に出したそうです。



源頼光公館土蜘蛛作妖怪図

庶民とともにある版元だったのですね。扇子やうちわについては、いつ頃から手がけているのですか？

もともと伊場仙では紙と竹の原材料を扱っていました。材料が揃っているし、うちわや扇子も作れるじゃないかと、江戸の中期から作り始めました。当時はこの小舟町一帯に何軒もうちわ問屋が軒を連ねていて、うちわ河岸がありました。店のすぐ前の道も以前は川で、紙や竹は舟で届いていました。

「江戸うちわ」とは、どんなものですか？

京うちわは、お公家さん向けに絵も手描き。梅という木を使った高級うちわです。対して江戸うちわは、安価な竹を使い木版の刷り物を貼る庶民向け。八つつあん、熊さんでも買えるのが信条です。絵が大きく見えるよう、うちわの面がふっくら大きいのも江戸うちわの特長です。今では日本の伝統文化の一つとして海外のお客様にも人気が高い浮世絵や江戸うちわですが、本来はとてもリーズナブルで身近なもの。ぜひ皆さんも、気軽に楽しんでみてください。

## 中央区文化・国際交流振興協会役員名簿

(令和3年7月8日現在)

理事長	三田 芳裕	中央区観光協会副会長
副理事長	齊藤 進	中央区副区長
理事	遠藤 彬	東京商工会議所中央支部副会長
〃	柴川 賢	中央区商店街連合会会長
〃	森山 照明	中央区工業団体連合会会長
〃	高野 真弓	東京日本橋東ロータリークラブ前会長
〃	五味 達夫	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	鈴木 博道	京橋地域町会連合会会長
〃	岩田 博	日本橋地域町会連合会会長
〃	興石 智宏	月島地域町会連合会会長
〃	石本 正幸	中央区文化連盟連絡協議会会長
〃	木本 慎一	中央区体育協理理事長
〃	河野 祥多	中央区PTA連合会会長
〃	秋元 啓佑	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	濱田 徹	中央区区民部長
〃	生島 憲	中央区教育委員会事務局次長
監事	神谷 聖子	中央区女性海外研修者の会元会長
〃	鈴木 浩	中央区会計管理者

## 表紙 佃大橋・佃リバーシティ

## 小川 幸治

隅田川に架かる佃大橋。シンプルでモダンな橋は、子供の私には未来につながる道に思えた。1964年、生活の足であった「佃の渡し」に代わって江戸時代からの歴史ある佃島と湊町、明石町を結んだ。佃大橋が架けられた頃から、都心の風景は変わった。高さを競い合うように空に向かって伸びる高層住宅、生活スタイルも変わり、川岸をジョギングする人々を見かけるようになった。

特集は、演劇・映画専門の私立図書館である公益財団法人 松竹大谷図書館主任司書の武藤祥子氏に、昨年9月に開催した文化講座の中で、「芝居に縁の深い中央区、番付と筋書の今と昔」と題して講演していただきましたところ大変好評でしたので、講演に関連した内容でご寄稿いただきました。

「ひと 粋・活き」では、中央区が誇る文化資源を紹介する「中央区まちかど展示館」の一つであり、創業から400年以上続く、東京で最も歴史ある扇子とうちわの専門店「伊場仙」の14代目当主の吉田誠男氏にお話を伺いました。